

1. 学校の教育目標

明るい子 ～「明るい子ども」として、学ぶ意欲を高め、自らすすんで学習課題をもち、主体的に解決していこうとする能力や態度を育てる。～

正しい子 ～「正しい子ども」として、思いやりや感謝の心をもって、すすんでよりよい人間関係を築く能力や態度を育てる。～

たくましい子～「たくましい子ども」として、力を合わせて達成する子どもを重視する。多様な他者のよさを理解し、協働して解決しようとする態度を身に付けさせるとともに、心身の健康づくりを進める。～

2. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画

（目標）

本校の「教育目標」「学校経営方針」「明正の教育」「学校関係者評価アンケート結果」に基づき、実施してきた教育活動、経営活動を総合的、客観的に評価し、新年度を待たなくても今すぐに改善できる内容は改善する。また、結果に基づいて来年度の教育課程を編成し、本校の教育の充実、向上を図る。

（計画）

- (1) 学校関係者評価を行う。～12月始～
- (2) これまでの教育課程の実践について、どの程度達成できたか、項目ごとに評価する。12月
- (3) 学校独自の自己評価点検表に記入し、アンケート項目に沿って数値化する。12月
- (3) 個人、学年で評価し、改善策を記述し、末尾に（学年）を明記し学年単位で入力する。12月
- (4) 割り当てに沿って各分科会で個人・学年評価を検討し、改善策を参考に具体的な提案を検討する。1月
- (5) 学校評価全体会で分科会提案を検討する。1月
- (6) 管理職が主幹教諭や主任教諭から、来年度に向けた具体的な計画作成のためのヒアリングを行う。

3. 学校評価（自己評価）まとめ ※全体会と主幹教諭、主任教諭からのヒアリングを基に作成

NO	評価項目	成果	課題	改善策
1	教育目標	特になし	特になし	特になし
2	学校の重点目標	特になし	特になし	特になし
3	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・通知表の仕事分担は軽減された。 ・通知表2回はよかった。 ・評価を前期・後期にしたことによる1, 2学期末の負担軽減は大きい。 ・成績の回数が減ったことで、教材研究や児童との関わりに費やす時間が増えた。ありがたいです。 ・教科担任制が効果的。学年として児童を見ていける。 ・教科担任で担任が他のクラスを授業している時の動きわかるようになった。 ・ひまわり学級の交流給食がよい取り組みだと感じた。 ・適切な学校環境になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の通知表の提出時期が夏休み中に作業しないといけない時期だった。 ・通知表の回収は、表紙を残した状態でファイルは回収したい。買った必要がない。 ・前期の評価提出が2学期の前日出勤日だったため、7月末に学年で読み合わせをする必要があり、あまりメリットを感じなかった。 ・所見提出の際、本物の形式で印刷すると、一度に800枚ほどの紙が無駄になる。 ・教科担任制を働き方改革なのか専門性なのか、どちらの考え方なのかを統一してほしい。 ・8時05分に職員室にいる先生が多い。子どもたちは教室に来ているのだから、教室で管理をするべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通知表について 通知表は2回にしたことで負担軽減になったと感じられている。提出時期は夏休みのまとまった時期に作業をして管理職への提出が望ましいと考える。また、前期の管理職への提出は一覧表のみとなるようにする。ただし、懸念されるのは欠席の備考欄なのでそれをどうしていくかは今後検討していく。 ・教科担任制について 教科担任制は、働き方改革、専門性どちらも兼ね備えていると考える。学級をより多くの目で見っていくという視点もある。また学期ごとに教科を決めなおすことで偏りをなくすなどの工夫も考えられる。 ・登校について ①8時15分になると、正門前・昇降口前に児童がたまってしまい、安全面で危険となる。②8時15分から25分までの10分間で教室に入り支度をす

			<ul style="list-style-type: none"> 最終下校時刻が早い。 	<p>ませるのは難しい。③遅刻が多いので8時25分にスタート着席する決まりが徹底できていない。などの点から登校時刻の目安を8時05分から8時20分までとして、朝の会の開始を8時25分とするように保護者に伝えていく。また教員もできるだけ早く教室へ上がるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下校について 勤務体系を踏まえるとこれ以上遅らせることはできないことと下校を見守る主事さんのこともあるので15時25分の最終下校とする。残す場合には、職員室に連絡し、ホワイトボードに記入してもらう。(残留児童の把握のため)
4	各教科	<ul style="list-style-type: none"> 算数の教具(時計・立体積み木等)の置き場がバラバラで分からない。 生活科で物を置く部屋がない。 6年生の指導書と赤本が5冊揃わなかった。購入できる予算があれば購入してほしい。 放課後に行っている算数の放課後学習に行く児童の決め方について 低算数室(3階)は遠く移動に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材・教具について 算数教室については、毎年教室の移動があるため、低学年・中学年・高学年算数室にどんなものがあるのか、教材整理の時にリストを作って確認する。生活科の物品は2階の先のスペースと校舎裏の倉庫が置き場となっている。(スペースの都合上)赤本については、予算があれば購入していく。 放課後学習について 2年生のうちに個別の声掛けを行っていくようにする。 教室のスペースの関係で現状通り。 	

			<ul style="list-style-type: none"> • 体育の時間にBGM的に雰囲気盛り上げるような音楽は、先生の指示が聞こえるか等、安全管理上問題がある。 • 体育で鉄棒など道具を使うものが学年でかぶってしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 体育について 学習指導上、BGM をかける目的があって流しているが、他のクラスとの兼ね合いを考えると、音量等を付けて活動できるようにする。 鉄棒等は年間指導計画にはかぶらないように組んでいるが、それぞれのクラスでの情報共有ができていないがゆえに起きていることが考えられる。より一層の連携を図るようお願いしたい。
5	特別の教科道徳		<ul style="list-style-type: none"> • 道徳地区公開 指導案はもっと簡略化したい。 • 道徳地区公開講座の参観が土曜実施にも関わらず、ここ数年減少しており、指導案を作成しても徒労感が否めない。(通常級は学年で統一だが支援級は児童の実態に応じた異なる単元でグループごとに作成) 	<ul style="list-style-type: none"> • 道徳指導案は東京都で配布を求められているので、本時案のみの略案を今後も出していく。
6	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> • 明正プロジェクトは次年度以降続けていくのであれば今年度通りの範囲で続けていくのがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 明正プロジェクトは各学年で実施していけばよい。 • 年間に一つの単元ではなく、探究のサイクルを生かしつつ、学年に応じた弾力的な計画で良いのでは？ • 全体計画の見直し。5年生の「多様性」が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 明正プロジェクトについて 明正プロジェクトは、今年度実施をする掲示方式を来年度以降も行っていく。 • 全体計画について • 校内での総合の単元計画の話し合いを設定する。 単元や単元内容は学年で実態に応じて設定する。学年に応じて年度ごとに計画を変えてもよいが、共有と記録を必ず行うことで次年度に引継ぎを行うようにする。 • 6年間のどこかに障害理解の内容は必ず入れていく。現在は4年生との交流にしているため、来年度

				以降も4年生とひまわり学級との交流としていく。 指導書はない。
7	教科「日本語」	<ul style="list-style-type: none"> ・中神先生が担当して下さり、児童が担任以外とも接することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤刷りがほしい。指導項目がわかりづらい。指導の流れを知りたい。 ・学年で指導の仕方や授業の進め方がばらばらになってしまう。 	
8	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び以外にわくわくネーム作りなどで高学年がアドバイスをしてくれた。 ・給食準備中の委員会の集まりが無くなり、児童管理がしやすくなった。徹底していく。 ・縦割り班で高学年が読み聞かせをして上級生らしく進めていた。 ・たてわり班活動が授業内ではなく、掃除・昼休みを使うことで、時間はタイトだけど交流できてよい。授業もつづれない。 ・今年度の校内放送の内容が充実していて良いです。全校児童にしっかり聴くことができるように、この時間はもぐもぐタイムなど工夫してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブや委員会の振り返りカードを、持たずにクラブや委員会に来た児童が多く気になった。(紛失や忘れなど) ・6年生が委員会・クラブ・たてわりと忙しすぎる。 ・委員会やクラブのカードは事前にどれくらいのクラスが活用できているのだろうか。 ・全校に発信したい委員会がある。 ・委員会とクラブの振り返りの学級回収、学級からの返却は不要。 ・本の読み聞かせやネームカード作成など、行事の活動が多く、上級生企画の活動が少なかった。 ・縦割り班活動に読書週間などと抱き合わせことによって、遊びを行う回数が減った。 ・委員会の時間とクラブの時間を入れ替える。 ・クラブ・委員会の振り返りカードをロイロノートでできるようにする。 ・朝の集会の時間をちゃんと決めて、その 	<p>クラブ委員会の振り返りカードについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブの振り返りカードは学期ごとに紙で書く。クラブのカードは学級ごとではなく、クラブファイルに入れるようにする。そのかわりクラブの時間の流れを明記したマニュアルを各クラブに配布する。 <p>→案 ①出席確認②活動のめあて③活動の説明④活動⑤活動の振り返り⑥次回の活動の確認⑦担当の先生からの話(価値付け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の振り返りカードはロイロノートで集約する。特活部でロイロの中に各委員会の授業をつくり、各担任は見られるようにする。その時間に提出させてから下校は継続。時間の流れを明記したマニュアルを各委員会に配布する。(クラブと同じ) <p>縦割り班活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割りの活動場所は、1回目の縦割り前に1年間の場所を6年生と担当で決めておく。縦割り担当が前日に写真を撮り、ロイロに送る。当日、各担任が場所を伝える。 ・たてわりの遊びの回数を増やすために、1回目の名札づくりは縦割り前に行い、読み聞かせは図書委員におろす。 ・集会は8時30分スタートを徹底し、10分間で終わる内容で計画を立てさせる。

			<p>時間までに終わるもしくは教室に戻れる算段が見つからないのならオンラインも活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会・クラブのカードがクラスファイルに戻っておらず、事前に確認できない。 ・たてわり活動の場所、内容確認のタイミングが難しい。 ・クラブ活動の体育着着用のルールがあいまいになっている。 ・クラブカードの振り返りに時間がとられてしまう。 	
9	外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・2人体制で教えてくれる為、やりとりを学べ、多くの大人と接せれた。 ・オンライン交流やバンバリー市の児童との交流は児童にとってよい経験となった。 ・海外との交流ができ、他の学校にない取組が子どもたちの刺激になってよい。 ・教材準備や指導の工夫に学ぶことも多く、たいへん充実している。児童も毎回楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の外国語は、カウントされないのがもったいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の外国語はカウントできない。
10	生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間のコーンがわかりやすい。 ・昼休みより掃除が先になっ 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはようDAYの場所がお茶坂下など5分程度かかる場所をなくしたい。低学年で朝担任が教室不在の時間が長いのは不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはようDAYは学び舎の取り組みで、教育課程の重点項目にも含まれており、学校として推進する。日常、教職員からの挨拶も励行する。消防署協と

	<p>たのが良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休みと掃除の時間の入れ替えにより、児童の動きがスムーズになった。 ・自分から挨拶する児童が増えた。 ・おはようDAYの取組により、自分から挨拶をする児童が増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを返さない児童も多くみられ、やることに意義があるように感じない。 ・月曜朝の放送は、不要ではないか。 ・月朝は、担任が教室にすることが必要。 ・おはようDAY 場所が遠い。 ・落とし物の保管場所について ・雨の日に使えるアイテムを追加購入できるとよい。 ・キーホルダーの扱いの指導の仕方に悩んでいる。(大量に付けていたりやぬいぐるみ型だったり。水筒や手提げにもじゃらじゃら) ・教室の物がなくなったり、放課後に教室に残って下校が遅くなったりしている。 ・明正おはようDAYに何の効果があるのか分からない。登下校の管理なら生活指導で分担してほしい。 ・自在ぼうきは使い勝手が悪い。 ・避難訓練の高学年と低学年の前後に意味があるのか。 ・校庭の人が多い。里山遊びは教員の負担が大きくなる。 ・教員(担任)のことを呼び捨てやあだ名で呼ぶ児童が低高問わずいる。その都度、呼び方を指導するようにしているが、徹底できない状況にある。 ・チャイムの意識が薄い。けじめとして意 	<p>お茶坂下は、朝の学級指導に支障が出るため、近い場所(校庭の職員室前、北昇降口)に変更する。児童による挨拶運動については、特活部が検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜の放送は、共通した生活指導のために必要である。 ・落とし物の展示については、ハンガーラックを使うと逆に見えにくくなるため、使わない。今後もアイデアを募る。 ・雨の日の遊び道具については、令和8年度はUNOを追加購入する。 ・引き戸でのけが防止のためにも、階段下で待つこととする。 ・教室施錠は令和7年度3学期から導入する。 ・ランドセル(バッグ)の横には安全のため、また学習に不要なものは持ってこないという視点から、何もつけない。お守りやポットなどは、ランドセルの内ポケットに入れる。 ・清掃道具については現状通り。 ・校庭避難時の隊形については、緊急車両の進入路の確保という現実を見据えて現在の形になっている。臨機応変に動ける高学年を後列にしている。 ・【校庭遊び】危険な現状をよしとはしない。アイデアを募る。生活指導部で出た一案としては、掃除の時間に昼休みをする学年を2学年にする。すると、掃除が週に2回減る。そこで、A: キュビナDAYとショートホームルームなどの時間を週2回とる。B: 教室・特別教室内だけ(廊下や下駄箱×)の
--	---	--	---

			<p>識付けを徹底する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校のときに混雑して並び、足をはみ出す、待っているときに座り込む子どもがいる。 ・給食時に音楽を流しながら食べている学級がある。 ・こちらから挨拶→返さない児童、返してくれる児童が未だに半々くらいの印象。 ・掃除を早く終わらせて遊んでいる子どもたちがいる。 ・廊下の右側を歩く、が定着していない。 ・ルールがあいまい。教員によって指導に偏りがある。 ・おはようDAYの場所の見直し、後の活動に影響がでないようにする。 	<p>簡単清掃をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除の時間について、全校で音楽を流すことはしないが、ふらふら遊んでいることが無いよう、各学級で工夫する。 ・大人への呼び方、チャイム意識の向上、右側歩行、防寒着については提案通りに意識を高める。
11	キャリア教育		<ul style="list-style-type: none"> ・行事のキャリアパスポートは、ロイロノートで作成し、担任が一括管理して印刷するととてもよかった。 ・キャリアパスポートの先生からのコメント欄は、所見と内容が重なる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コメントについては、キャリアパスポートは子ども向け、通知表は保護者向けで書き方を変える。 ・キャリアパスポートは先生のコメントを先にし、保護者のコメントを後にする。キャリアパスポートの先生と保護者のコメント欄を入れ替えていく。確実に回収できるようにする。 ・キャリアパスポートはA3の見開きにし、自分のめあてと毎学期の振り返りを関わらせられるようにする。 ・キャリアパスポートの3学期のコメント欄はなくす。 ・ひな形を研究推進で作成する。

12	特別な配慮が必要な児童への指導	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は1年生1クラスにつき一人、支援員がいたのはひじょうによかった。 校内委員会を中心によく話し合われている。夕会で情報共有も進んでいる。 養護教諭、SC、すまいる、学級など、様々な方面から見た児童の様子を共有したり、相談したりできる環境は非常にありがたい。 エデュケーションアシスタントやインクルーシブ支援員の複数配置により、低学年を中心に細やかな児童対応がなされている。 新年度の要配慮児童の情報共有を5月の運動会がある週に全学年一斉ではなく、早めに低・中・高と週を分けて実施したのは（時間、情報量的に）昨年度よりは良かった。 夕会で情報共有が有効。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応に必要な児童が多く、結果一人にならないため切り替えが遅くなる。別室がこれ以上ない。 低学年には手厚い状況だが、中学年以上の配慮を要する児童への（人的・環境的）支援に限られる。昨年度ほっとルームを新設したが、少人数指導の教室に使われる現状があり、校長室や小会議室、保健室で過ごす児童も多い。 新年度の要配慮児童の情報共有は2学年ずつでも設定時間を超過し、把握しづらかった。 校長室、小会議室、ほっとルームのすべてが埋まってしまう状態もあるがどうするのか。 ほっとルームの担当者がいないため活用が進んでいない。 職員室への児童の入室はしないようにする。絶対にはやっけないことの線引きをしっかりと。職員室や校長室を居心地の良い場所にしない。 ほっとルームがあまり活用されていないように思う。その他の使い方を検討できればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ほっとルーム：個別対応は部屋の制限もあるが、それ以上に人の確保が課題。学校生活サポーターの活用はできないか。 BOP2も、午前中は使えるそうだが、漫画本があったり、結局、大人の手が足りていなかったりするので解決にならない。 新年度の情報共有は、単学年だと計7回と期間がかかりすぎる。4月中旬まではまだまだ担任が把握していない。火曜日夕方も生かして2学年ずつ進める。
13	その他の特色ある教育活動	<p>〇里山を楽しみにしている児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通学路に立ってくださっている方々へのあいさつの時期が少し遅いように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路に立ってくださる方へのあいさつについて早いうちに行う。できれば5月の朝会でできるようにする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・モジュールの時間やキュビナタイムの自由度がほしい。 ・モジュールを国語以外の教科など柔軟に指導できるようにしたい。 ・体力づくり月間（特に長なわ）をなくし、遊びを推進していくような取組を促す。 ・障害理解教育の重点活動である、通常の学級とひまわり学級の「ふれあい給食」の位置付けが曖昧。全校への周知無く該当学 	<ul style="list-style-type: none"> ・モジュールについて モジュールは年間時数にカウントしているため、一つの教科でないと時数がとれず、国語のみで行っている。 体力づくり月間について <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり月間として休み時間に開催するのではなく、体力づくり月間の月は毎週長なわ集会を開いていく。10月の第1週に行う長縄朝会では縦割り班で交流するようにする。高学年の姿を見ることや教えあえる環境を設定することで低学年の意欲にもつながるのではないか。2週目以降はクラスで取り組み、高まりを実感できるようにする。 ・2月の体力づくり月間も同様で、短縄集会を開く。スペースの都合上難しいので、木曜→奇数学年、金曜→偶数学年のように日にちを分けていく。 ・休み時間は、その集会があるので自由とする。集会の存在によって運動の日常化を図れるようにすることがねらいなのでその姿を引き出したい。しかし、縄跳びを続けるとしたら、遊びのスペースの確保に難がある。特に短なわがたくさんいるとそのスペースを確保する関係で鬼ごっこのスペースが狭まり、けがをする危険性がある。そこが課題だと感じている。 ・障害理解教育について 総合的な学習の時間で行っている多様性との位置付けで行う。
--	--	--	--

			年だけで進められている。	
14	年間授業 時数	○土曜日を1日勤務にし、振替休日を設定するのは、仕事がしやすく、よいと思った。	<ul style="list-style-type: none"> • 学校公開期間を2日間にしたい。 • 学校公開は各学期に3日必要なのか。 • 6月末の保護者会は、個人面談があるため必要ない。 • 地域行事の参加に調整が付くのであれば、宿泊行事の実踏にも調整がほしい。よろしくをお願いします。 • 運動会開催の秋開催を検討してほしい。 • 今年度、明正小まつりで6年生が出店したが、希望を踏まえて検討した上でのこと。PTAとの兼ね合いも難しかった。毎年実施するものではない。 • 2学期は校外学習やゲストありの学習が集中しやすい。体育館の制限も多い。来年度の川場は1学期だが、10月の5年が忙しい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校公開について 世田谷区から8日以上設定することとなっている。今年度より1日減っている。 • 保護者会について 6月末の保護者会は夏季休業に向けての連絡や日光林間学園の説明を兼ねているので個人面談との目的がちがうため実施する。 • 運動会について 来年度、河口湖移動教室が秋にずれるため、ひまわり学級の児童の負担を考えると、秋開催は難しい。再来年度に関しては、元に戻るため、検討の余地あり。 • 明正小まつりの6年生のお店については。実施するものではない。 • ゲストティーチャーについて 総合的な学習の時間の多様性の観点で5年生で実施する。多様性をどのようにしていくかによってゲストティーチャーも変わってくる。
15	学校行事			

16	健康・安全 保健	<p>気になったことがあったら、修繕や補強の対応が早くてありがたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 教室内の環境改善。 	<p>教室の空気清浄となると、大型でないと意味をたないが予算はない。窓を開けましょう。</p>
17	経営・組織	<ul style="list-style-type: none"> • 4分科会にしたことで、会議の回数や校務が減り、時間に余裕がもてるようになった。 • 四部会になって会議時間の短縮につながっている。 • 組織は少なくなり、仕事も減ったので今年度の組織がちょうどよい。 • 4部会になり、会議のスリム化が図られて良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 1年副担養護教諭となっているが、学年付きとして動くのは難しい。専科の先生でだれか学年に付いてもらうことはできないか。 • 里山担当の位置づけが曖昧。 • 補教担当の負担が大きいように感じる。当日（急な場合は仕方ないが）、補教担当が自身の学級に朝行けない遅くなることがあった。 • 補教が一部の先生に大きく偏った。 • 会議の無い日にも何かと打ち合わせが入り、学年会の時間を捻出しづらい。 • 企画委員会に回す文書は決裁の必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 1年生の専科付きについて 1年生は現在エデュケーションアシスタントがついていること、専科の人数的に配置が難しいことから養護教諭についてもらう。 • 里山担当について 里山担当の校務分掌をつくる。 • 補教担当について 今年度担当で様々なことを行っているので今後も継続していく。 • 企画・職員会議について 現段階で企画→職員会議の流れにすることで、職員会議に提案するものを削減することができ、職員会議の時間をだいぶ短くできている。また企画の前に起案をすることで多くの目で見ることができ、その段階で調整を行うことで、企画の時間も短くなっていくようになると考えている。
18	研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> • 視点を探究の課題設定、学習計画と絞ったことで、教員間で共通の課題のもと授業づくりができた。来年度は展開 	<ul style="list-style-type: none"> • 分科会は 低・中・高・ひまわり・専科でいいのではないか。 • 来年度は教科は絞るべき。 • 2クラス実施の場合は、本時が一緒のほ 	<ul style="list-style-type: none"> • 分科会について ひまわり、すまいると専科を合わせて、合計4分科会で行う予定ではあるが、研究の方法については今後の振り返りを踏まえて考えていく。 • 教科について

	<p>の部分ということで分かりやすい研究構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 研究を通して、学習計画を立てて授業を展開していくことの重要性を再確認できた。 • 研推だよりが読みやすい。 • 2クラス実施よかった。 • 年次研の仕組みが整った。研究推進が取り纏めるでよい。 • 校内研究のお便り、2学級の授業参観は工夫されており学びやすい。授業の見る視点や、指導案の変更（更新）も随時行ってくれているので、どう変わったのか事前に見ることができ、より焦点をあて、その授業を見ることができている。 • 初任者を含め、年次研授業者へのバックアップが手厚い。それぞれが得意分野やアイデアを生かし、校内全体で学び合おうとする風土が根付いている。 • 教科をまたいでの研究でわかりやすくて良いです。 	<p>うが協議しやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OJTが活発である一方、支援級設置校でありながら授業を見に来られる方が少数で残念。 • 校内研の日は休憩時間が無くなることが多い。 • ひまわりは、毎年研究している。ひまわり、専科、すまいるチームを編成するのはいかがでしょうか。 • 研究授業の参観者が人によって人数に差があるのはしょうがないにしても、協議会の人数も差がある。 	<p>年度末の振り返りにて指針を決めていく。よって保留。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 協議会について 協議会のスタートが遅くなるため、授業終了後に速やかに協議会会場に移動して協議を始める。振り返りについては、研推メンバーで取り纏めていくなど、システムを変えて行えるようにする。 • OJTについて 職員室後方のホワイトボードに、「ひまわりはいつでもどうぞ」を掲示しておく。今年度途中より年次研の授業と協議会について、研推で取り纏めていくようになった、曜日や時間の設定などをばらけさせ、よりたくさんの先生が参観できるシステムを構築する。
--	---	---	--

19	情報 ICT	<p>○詳しい先生や、支援員さんに聞いて活用できているため、ありがたい。支援員さんの来校日も冷蔵庫に貼ってあるため、分かりやすくてよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が錯綜している。情報源は統一すべき。 ・タブレット忘れや充電切れになってしまう児童がいつも数名いるため、授業に思うように取り組めない場面がある。 ・情報がロイロ、チームス、シーフォースとどれを確認すればよいか分からない。 ・校内の情報共有の方法が一本化されていない。それぞれの良さはあるが、どれを見ればよいのか分からない。 ・teams、C4th、ロイロなど、情報が各地に散らばり、伝達漏れが多く起こっている。(C4thに書いたのに伝わってないなど) ・連絡が多様(C4th、Teams、ロイロ)で把握しづらい。 ・職員室の会議ですまいる、ひまわり教員は校務PCが見られない。 ・教室にテレビがなく、代わりにプロジェクターを使っているため、とても不便。 ・職員室ロイロができたことで、資料の保存や取り出しなどわかりやすくなった一方で様々なところに情報があるので、どこを見ればいいのかわかりづらい。 	<p>現在どのようにまとめることができるか他の学校との情報を聞きながらまとめられるように調整中。</p>
20	施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科室を順次整備している。新しく椅子が入り、給湯器を新しく入れてもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童も学習用具を置く場所が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用具の置き場について棚の増設は難しい。ファイルボックスについては、検討していくが、他にもアイデアを募集中。

	<p>今後水道も直してもらおう予定。来年度には机が変わるとよいのですが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 体育館体育の時数が限られているため、なるべく体育館での出前授業などは入れたくない。 • BOP棟に職員用トイレがほしい。5年5組の前のトイレまで行くしかなく、不便。BOPのトイレは、サンタリーボックスがない。 • ひまわりの廊下だけ中央線や右側通行の表示が無い。 • 今年度末のワックスがけの前に表示やテープを貼る。 • 不必要なレール跡が残っているため、ワゴンやテレビ台の移動で皿が割れたりテレビが破損したりする恐れがある。 • 教材や備品を置くところがなく、廊下に置いてしまっている。 • クラブで、すまいるのプレイルームを活用する（水曜午後空いてる）。また、プレイルームの稼働率を上げるために、職員室にホワイトボード予約表を作ってみてはどうか。 • 職員用靴箱を新調する。ひまわり学級は大人の人員が多く、児童用の靴箱までもっていく方もいるので。 • 校庭固定施設付近のポール3つを抜く。屋上にあるので。 • 校庭の地面を修繕、ポイントが出っ張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 体育館の出前授業について 体育の時数を確保しつつ、ゲストティーチャーに直接話を聞くことも大切なので実施していきたい。今後の教室増に期待していく部分もある。 • BOPのトイレについて 予算的に増設は難しい。BOPのトイレにサンタリーボックスを設置する。 • すまいるのプレイルームは現在も多目的室として使用できる。クラブ活動について必要に応じて使用する。 • 設備について 職員用の靴箱については再来年以降の予算で検討する。校庭固定施設付近のポールは、見やすいところに設置することが決められているのでそのまま。校庭のポイントとプールの壁面は確認する。児童の安全に関わるものを優先的に交換する。図工室の椅子は予算を付けられるようにする。校庭の水道の水量は2つ以上使うと水量が少なくなってしまうが、水道管の関係らしいので工事の関係で今のままになりそう。元飼育小屋については、スコップなど児童が勝手に触ると危ないものもあるのでダイヤル式のカギを設置する方向で考える。屋上は今のところ安全が確保できないので使用しない。
--	--	--	--

			<ul style="list-style-type: none"> ・プール内の壁面を塗る。 ・講師の先生の靴箱がない。 ・カーテンのある靴箱の中をはっきりさせたい。名前を貼るなど。 ・休憩時間の変更（放課後 話し合い→休憩）定時で退勤する方において、話し合いで伸びた場合に最後まで参加できない状況を、休憩時間にかかってしまうが、解消できないか。 ・校庭1・2年生の水道の水量は工事できないか。 ・元動物小屋を倉庫に置き換える、または、畑を増やす。道具も少しずつ新調できるとよい。 ・屋上床の劣化。塗装、新たに、安全面が確保できるような罫線を書く。座れないところ、階段などの保護をするなど、今後、安全に活用できる屋上にする。 ・家庭科室：ガスコンロが片方しか使えないものや、温度センサーがうまく起動しないものが何台もある。すべて一度にとは言わないが、ガスなので、早めに新しいものに交換したい。 ・理科室の椅子や図工室の椅子の交換。 ・児童の安全面に関わることを優先的に交換していく。 	
21	出納・経理		<ul style="list-style-type: none"> ・担任が会計を担うことは負担が重い。 ・新年度に予算を立てると、新しくきた先生にとって、何がどれくらい必要なのかわからない。 	<p>会計は次年度学校モールが新たに入るなのでそれ次第になる。新年度の予算は今年度通り年度末に次年度のおおまかな予算をたてる。</p>

22	<p>特別支援・教育相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員が多くてありがたい。 ・夏期休業中の教育相談研修会は、校内の児童を対象とした事例検討を行い、チームで具体策を検討しつつ専門家から助言を仰げる機会が有意義であったが・・・ ・ひまわりの特支理解を年度初めの学年集会で話せたことで、全体に一斉周知できた。今後もひまわりの時数負担を減らすために同じ取り組みにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の様子は生活指導夕会で共有している。一度に大量の情報は入らない。年度末の生活指導全体会は必要ないのではないかと。 ・学びの個別指導計画→新年度に、保護者の願いや子どもの願いを聞いてからつくっていると、時間がかかる。 ・すまいるの面談日に、通常学級を参観してもらおう機会がほしい。集団での様子を見る機会。 ・巡回相談候補を出すのが大変。学級によって名前があがる・あがらないの差が激しい。 ・途中入室児童が増えて空き時間減り対応が難しくなってきた。 ・すまいるの指導で、曜日をまたいでの指導、1・3時間目など時間をまたいでの指導は集合するのに時間がかかり、指導が十分にできない。 ・(金)夕会は児童の情報共有が多く具体的な支援策がなかなか見出しづらい印象がある。 ・月1回の校内委員会は、情報共有も行っているが、すまいるへの入級検討も多く、配慮が必要な児童への支援策を組織として検討するまで十分に深められない事が多い。困り感が大きくなってから、(学年が進んでから)個別の対応をすることも少なからずあり、担任の負担感が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの時間については、3年生の放課後補習教室と同様に前年度中に決めて、指導計画を作成する。(継続だと、前年度に作成したものの確認変更のみ)。 ・すまいる面談時の授業参観については、担任とすまいる担当者とよく相談して、必要に応じて声をかければよい。今年度、実際にそのようにしている事例もある。 ・すまいる職員を固定時間割作成担当に加える。 ・巡回相談は、各学年1日ずつ割り当てる。 ・配慮が必要な児童について、担任の負担が少なくなるよう困り感をシートに記入して共有する。 ・ひまわり学級への情報共有はお互いに気を付ける。 ・特別支援への入室については、明正の教育03-31を参照する。 ・支援員の方々の役割(SSSとエデュケーションアシスタント等)の仕事内容を職員に周知していくようにする。
----	------------------	--	--	--

			<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり学級への行事等の伝達を忘れられがち。 ・特別支援への入室等のアプローチの仕方が統一されていない。 	
23	給食		<ul style="list-style-type: none"> ・配膳台に入っているお皿がすべて下向きになっている。ひっくり返すのに時間がかかるし、低学年だとその間にトラブルが起こる。 ・四月に学級内で給食のルールを決めるが、配膳、おかわり、かたづけ、など前年度のやり方が各クラス異なるので、確認の時間かかってしまう。 ・給食に補教に入る際に、学級ごとにルールが異なり、指導の統一を図ることが難しい。(例：静かに食べる時間、ごちそうさまの仕方、個人の片付けの仕方タイミング等。) ・放送等で「もぐもぐタイム」などを設定してはどうか。 ・給食時に音楽を流しながら食べている学級がある。 ・給食準備や給食の時間に音楽をかけているが、食育の観点から必要だろうか。また安全上も指導が聞こえない等心配がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皿の向きなどは、区によって洗浄乾燥保管の手順が決まっているので変更できない。 ・給食中の過ごし方については、「食事を楽しく」「マナーを守って」が大切。担任が子どもとルールを作り上げる学級経営を尊重しつつ、専科提案の通りに、音楽は選曲や音量に気を付ける。放送委員会の放送は聞く。
24	読書・図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・移動式のラックはもっと増やしてほしい。 ・司書さんの読み聞かせはあ 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間と体力づくり月間の日程をずらす。 ▲ひまわり学級には、移動図書ワゴンが無 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書ワゴンについて 移動図書ワゴンは毎年買い足しているので来年度も購入する予定でいる。年度末に回収し、年度初めに

		<p>りがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司書さんが時間割変更しても読み聞かせを快くやりましようかと提案して下さるのがありがたいです。 ・週一回図書時間が確保され、有難い。司書との連携もあり、読書活動がとても充実している。 	い。	<p>再度振り分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書週間について 来年度は体力づくり月間と読書週間の日程が重ならないよう日程を調整する。
25	自己点検の数値を受けて			
26	学校関係者評価アンケートを受けて			
27	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・一年集団下校をもっと簡略化したい。担当の専科教員の負担感が強い。 ・卒業対策についての組織が曖昧。卒業アルバムの集金や卒業式に関する出費に関わることが明確でなかった。 ・決裁をスムーズに回るようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団下校について 次年度に向けて今年度中に提案していく。 ・卒業対策について 卒業アルバムについては本来学校が作るものではない。どのような集金の仕方があるかなど整理していく。証書ファイルは卒業対策費としてPTAの予算が出ている。 ・決済について 起案は主幹教諭が学校の動きを把握したり、分掌間 	

			<p>・支援級担任は、講師の時間も児童対応で指導にあたるため、授業のコマ数はフルの29コマで空き時間は実質無い。教育課程が別なため、校務分掌の他に、多岐に渡る級務分掌がある。設置校の連合行事（移動教室、5校交流会、隔年の展覧会）や、就学関連の度重なる出張、教科書や支援級独自の調査や事務などを限られた放課後の時間にこなしていることを理解していただいた上で、会議の精選や休憩時間の厳守、週一回以上の学年会の時間の確保を切に願う。</p> <p>・学校評価も大切だと思うのですが、成績が学期ごとになったのですから、学期ごとに反省改善できることを話し合い2学期につなげるのはどうか。</p>	<p>の調整をしたりするために必要。なるべく早く回覧が回るように努めるが、見通しをもった起案をする。</p> <p>・学校評価について 提案通り1学期の最後の部会の中で反省・改善できることを話し合う時間をとる。</p>
--	--	--	--	---